



果樹特報

No.9

平成 24 年 7 月 13 日
J A 中野市営農センター
J A 中野市りんご・もも部会

本年の梅雨期は、平年と比較すると平均気温や最高気温が平年を上回る状況で推移しています。この高温の影響で、ハダニ類やシンクイムシ類の発生は昨年より早い状況ですので、園地の害虫発生調査をこまめに実施し、散布遅れがないように注意してください。一部で散布量不足による害虫被害が目立っていますので、この時期の散布量はなるべく多めに設定するようにしましょう。

引き続き、輪紋病・炭そ病・褐斑病等の重要防除期となっています。この時期の病害の感染拡大は、果実成熟期の腐敗の要因となります。7 月上旬に集中降雨があり、高温多湿状態となっています。梅雨期の定期散布が遅れ遅れできている場合は、今回の定期散布をやや早めるようにしましょう！

りんご

7 月中下旬の散布…前回より 15 日後

散布時期：7 月 20 日～25 日 *注意事項①参照

散布薬剤：水

1 0 0 リットル

展着剤

1 0 ml

ダニサラバフロアブル

1 0 0 ml (前日、2 回) *注意事項②参照

劇) ダーズバン DF

3 3 g (14 日前、2 回) *注意事項⑥参照

ナリアWDG

5 0 g (前日、3 回) *注意事項④参照

スイカル

1 0 0 g (カルシウム剤)

散布量：10a 当り 600 リットル

対象病虫害：輪紋病、炭そ病、褐斑病、斑点落葉病

ハダニ類、モモシンクイガ、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ

散布日 月 日

散布量 リットル

【注意事項】 *必ずお読みください。

- ① 梅雨明けが早まる場合は、上記の散布時期より前倒しで実施する。
- ② 梅雨明け後は高温・干ばつになるので、殺ダニ剤散布の 3 日前までに下草刈りを実施する。また、散布死角がないように注意する。
- ③ シンクイムシ類の被害果は、必ず採取して水没処理する。
- ④ ナリア WDG はピオーネ・サニールージュに薬害を生じる恐れがあるので飛散しないようにする。
- ⑤ 代替薬剤については営農センターまでお問い合わせください。(Tel23-3933)
- ⑥ 農薬(毒物・劇物)をお買い求めの際には、印鑑をご持参ください。

次回散布予定：8/5～10

今回は、盛夏期の薬剤散布になります。毎年、ハダニ類やシンクイムシ類の被害が大きい園では、散布間隔をあけすぎないように注意しましょう！

もも・ネクタリンの定期散布は裏面をご覧ください。

- ✚ 収穫前や収穫中の作物への飛散に充分注意してください。
- ✚ 梅雨明け後にモモハモグリガやシンクイムシ類、ハダニ類等の発生が心配されます。今回の定期散布は、遅れないように注意してください。

もも

7月下旬の散布（殺ダニ剤の効果を高めるため、散布3日前までに下草刈りを実施する）

散布時期： 7月20日～24日（前回散布から15日後）

散布薬剤：

水

100 リットル

展着剤

20ml

ベルコートフロアブル

50ml（前日、3回）

ダニサラバフロアブル

50ml（前日、2回）

サムコルフロアブル10

20ml（前日、2回）

適用病害虫：

灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病、ハダニ類

シンクイムシ類、モモハモグリガ

散 布 量：

10アールあたり

600 リットル

散布日

月

日

散布量

リットル

【注意事項】

①(カイガラムシ類)の発生園は、スプラサイド水和剤1500倍(21日前、4回)を散布する。
*収穫前規制に注意する。

②カメムシ類（コガネムシ類）の発生園は、ダントツ水溶剤4000倍(7日前、3回)を早めに特別散布する。
*収穫前規制に注意する。

③灰星病等の重要防除期となります。散布間隔は空けすぎないように注意する。

次回散布予定：8/4～8

ネクタリン

7月下旬の散布

散布時期： 7月20日～24日（前回散布から15日後）

散布薬剤：

水

100 リットル

展着剤

20ml

ベルコートフロアブル

50ml（前日、2回）

サムコルフロアブル10

20ml（3日前、2回）

適用病害虫：

灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病

モモハモグリガ、シンクイムシ類

散 布 量：

10アールあたり

600 リットル

散布日

月

日

散布量

リットル

【注意事項】

①カメムシ類(コガネムシ類)の発生園は、ダントツ水溶剤4000倍(3日前、3回)を早めに特別散布する。

②ハダニ類の発生園は、ダニサラバフロアブル2000倍(前日、2回)を加用する。

③サムコルフロアブルに代えて、フェニックスフロアブル4000倍(前日、2回)でもよい。ただし、使用回数には注意すること。

次回散布予定：8/4～8

もも及びネクタリン収穫前規制・使用回数 *ももとネクタリンは違いますので注意してください。

	もも			ネクタリン		
殺菌剤	ベルコートフロアブル	前日	3回	ベルコートフロアブル	前日	2回
	オーシャインフロアブル	前日	3回	オーシャインフロアブル	前日	3回
	アンビルフロアブル	前日	3回	アンビルフロアブル	前日	3回
	オンリーワンフロアブル	前日	3回	オンリーワンフロアブル	前日	3回
	インダーフロアブル	前日	4回	インダーフロアブル	前日	4回
	ナリアWDG	前日	2回	ナリアWDG	前日	2回
殺虫剤	アーデント水和剤	前日	3回	アーデント水和剤	前日	3回
	サイアノックス水和剤	14日前	3回	サイアノックス水和剤	21日前	2回
	ダイアジノン水和剤34 (劇)	前日	4回	ダイアジノン水和剤34 (劇)	21日前	3回
	フェニックスフロアブル	前日	2回	フェニックスフロアブル	前日	2回
	サムコルフロアブル10	前日	2回	サムコルフロアブル10	3日前	2回
	コテツフロアブル (劇)	前日	2回	コテツフロアブル (劇)	7日前	2回

【今後の管理】

- たまき、赤宝、あかつき等の無袋栽培では、引き続き修正摘果を行なってください。
干ばつの影響で全体的に小玉傾向となっています。この時期に変形果や小玉果、傷害果は摘果し、着果量を調整しましょう。
- 果実腐敗病の重要な時期です。予防散布を徹底しましょう。
極力きれいな水を使用し、細かな霧で果実・葉を中心に散布する。腐敗果は二次感染源となります。見つけしだい処理してください。
- 樹体管理を徹底し、樹冠・園内の通気性・通光性を改善しましょう。徒長枝切り・支柱立て・誘引をしっかりと行ないましょう。
- 土壌水分の激変は核割れ、生理落果、小玉多発の要因となります。
こまめなかん水や敷きワラにより土壌水分の保持を図るとともに、停滞水がないよう排水対策を講じてください。